

# 国保連みやざき

vol.10



幸島（串間市）



宮崎県国民健康保険  
イメージキャラクター  
「オレンジくん」

## CONTENTS

### 01 NEWS&TOPICS

- 保険者へ KDB システムの活用研修（実地支援）を実施
- 令和7年度第3回国保主管課長会議  
理事会・通常総会に向けて上程議案を説明

### 02 情報ひろば

### 03 国保連行事予定（2月～3月）

## 保険者へ KDB システムの 活用研修（実地支援）を実施

令和 7 年 7 月から令和 8 年 1 月にかけて、国保データベースシステム（以下「KDB システム」という。）利用促進等を目的として、要望のあった 23 保険者に対し個別に訪問または来会にて、本システムの活用研修を実施しました。

本研修では、本会が作成したマニュアルに沿って、システムの操作方法の説明や活用事例の紹介、困りごとに対する相談等、各保険者に設置されている KDB システム端末を使用した実機研修を行いました。個別に研修することで、保険者が日頃から抱えている課題や疑問等について意見交換ができ、また、KDB システムを使用していない方に対してもシステムを知るきっかけとなるなど有意義な研修となりました。

次年度も引き続き、KDB システムの利用促進に努めてまいります。



お問い合わせ先 保険者支援課 保険者支援係  
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388  
E-mail: jigyout2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

## 令和 7 年度第 3 回国保主管課長会議 理事会・通常総会に向けて上程議案を説明

1 月 26 日（月）、令和 7 年度第 3 回国保主管課長会議をオンライン会議形式で開催しました。会議には、県・市町村・国保組合の 28 人、後期高齢者医療広域連合 1 人（オブザーバー）が出席しました。

本会議は、2 月 24 日（火）に開催する本会の「理事会・通常総会」に上程する議案について、国保主管課長に対して事前に説明することを目的としており、専決報告事項 1 件、議決事項 9 件について説明を行いました。

### 【専決報告事項】

- ①令和 7 年度各会計歳入歳出補正予算

### 【議決事項】

- ①令和 7 年度各会計歳入歳出補正予算（案）
- ②令和 7 年度資産の積立・積立資産の処分（案）
- ③規則の一部改正（案）
- ④令和 8 年度事業計画（案）
- ⑤令和 8 年度各会計歳入歳出予算（案）
- ⑥令和 8 年度各会計収支予算書（案）
- ⑦令和 8 年度資産の積立・積立資産の処分（案）
- ⑧令和 8 年度積立資産の管理運用（案）
- ⑨令和 8 年度一時借入金について（案）

また、議案の説明とは別に、審査支払システムの共同開発などについて、説明と報告を行いました。



会議の様子

お問い合わせ先 総務企画課 総務財政係  
TEL 0985-25-5059 / FAX 0985-83-3359  
E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

# こくほ随想 少子化対策

医療経済研究機構 政策推進部 国際長寿センター 客員研究員  
濱谷 浩樹

あけましておめでとうございます。今年も、皆様にとって素晴らしい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。今年の干支は「丙午」です。60年前（1966年）の丙午では、迷信が原因で合計特殊出生率（以下、出生率）が大幅に低下しました。迷信が語られることはなくなりましたが、出生率は、前回の丙午をはるかに下回る水準で推移しており、今年から、新たに子ども・子育て支援金の徴収もはじまります。そこで、今回は、個人的経験も踏まえ、少子化対策の経緯について紹介します。

国として、少子化問題がはじめて政策課題として意識されたのは、いわゆる1.57ショックです。1989年当時、私は、厚生白書（現在の厚生労働白書）担当の係長でした。厚生白書は、毎年、テーマを決めて執筆します。1989年は、消費税（3%）の導入を背景に、「高齢者保健福祉推進10か年戦略」が策定されるなど介護対策が大きく前進した年でした。このため、当初は、介護問題をテーマとする予定でしたが、ある幹部から待たがかかりました。1989年の出生率が丙午の年1.58を下回り、過去最低となりそうなので、少子化問題をテーマとすべきということです。テーマを巡って、省内で大きな議論となりました。家族介護が限界で介護の社会化が急務であるのに対し、子どもを産むかどうかは個人の選択の問題であり、国がコミットすべきではない、いやいや少子化問題は、国の形を左右する大問題であるし、子どもを産むかどうかは個人の選択の問題

であるとしても、子どもを産み育てやすい環境整備は国の責務であるなど。結局、2つとも取り上げましたが、少子化問題とその対策の議論は、この頃にはじまっていました。

当時の厚生白書における分析のポイントは、①出生数減少は晩婚化が主な原因であり、結婚している夫婦の子ども数は2人超と大きな変化はない、②人口推計は、晩婚化の進行が止まり、皆が結婚する「皆婚慣行」が継続し、出生率が回復すると仮定しているが、仮に出生率が下がり続ければ社会に大きな影響を与える、③対策として、女性の就労と出産・子育ての両立支援や、企業活動と従業員の家庭生活との両立、両親が共同して子育てできる環境づくりや地域の役割、子育ての経済的支援等が重要、といったものでした。その後、就職氷河期世代の低収入等もあり、未婚化が急激に進行するとともに、晩婚化による出産年齢の上昇等により夫婦の子どもの数も減少傾向となり、少子化に歯止めがかかっていません。

この間、少子化の原因の分析や対策の基本的考え方は、あまり変わっていないと思いますが、少子化に対する社会の受け止め方や制度は大きく変わりました。少子化は深刻な社会問題であるとの認識の下、社会保障と税の一体改革により、消費税の用途として、少子化対策に0.7兆円が認められ、その後、消費税の用途変更等により、2兆円が追加財源として確保されました。

社会全体の所得水準が向上し乳幼児死亡率が低下すると出生率が下がるのは諸外国共通の現象で、我が国が世界一進んでいる高齢化問題とは異なり、少子化問題には家族政策に積極的に取り組んでいる諸外国のモデルがあります。フランスの一般社会拠出金 (CSG) も参考になったものと思いますが、消費税の引上げが難しい中で、新たな財源として、子ども・子育て支援金が制度化されました。

少子化対策は、結婚・出産・子育てにいかに関値を置くかという個人の価値観に関わるとともに、仕事と子育ての両立のためには長時間労働の是正が必要となるなど社会全体の構造・意識に関わる難しい課題です。少子化対策を進めるためには、制度改正や財源確保を行うだけでなく、社会の構成員一人一人が子どもと子育てに寛容な社会を目指すという意識改革が前提になるものと思います。

(記事提供 社会保険出版社)

### 著者プロフィール



濱谷 浩樹

(はまや ひろき)

出身地 北海道

医療経済研究機構 政策推進部 国際長寿センター  
客員研究員

1985年4月 厚生省入省

1999年8月 厚生省保険局企画課

2000年7月 厚生省大臣官房政策課

2001年1月 内閣官房行政改革推進事務局特殊法人等  
改革推進室企画官

2002年8月 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉  
人材確保対策官

2004年7月 厚生労働省保険局総務課老人医療企画官

2006年9月 厚生労働省年金局企業年金・国民年金  
基金課長

2008年7月 文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

2011年7月 厚生労働省保険局国民健康保険課長

2012年9月 厚生労働省保険局総務課長

2013年7月 厚生労働省大臣官房参事官 (人事担当)

2014年7月 厚生労働省大臣官房人事課長

2015年10月 厚生労働省大臣官房審議官 (老健、障害  
福祉担当)

2016年6月 厚生労働省大臣官房審議官 (医療介護連携  
担当)

2017年7月 厚生労働省老健局長

2018年7月 厚生労働省子ども家庭局長

2019年7月 厚生労働省保険局長

2022年6月 厚生労働省退職

2022年11月 東京海上日動火災保険株式会社 顧問

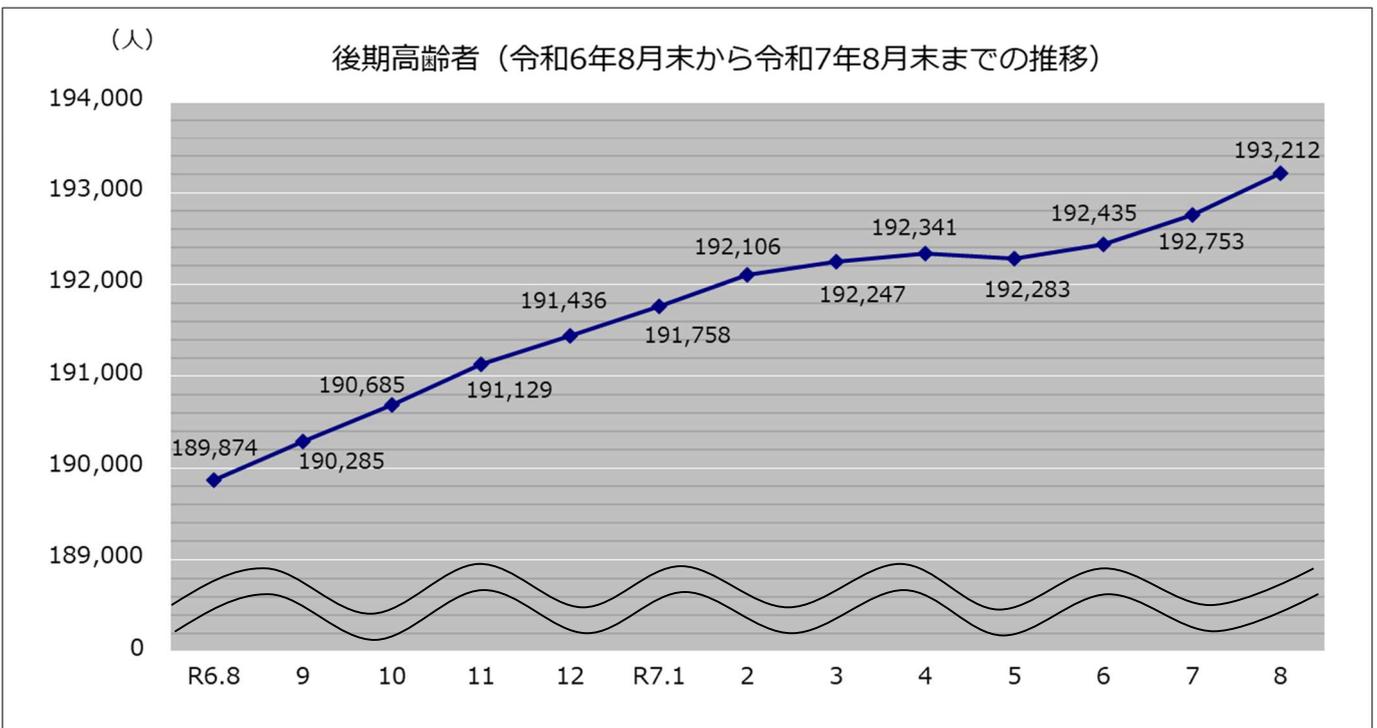
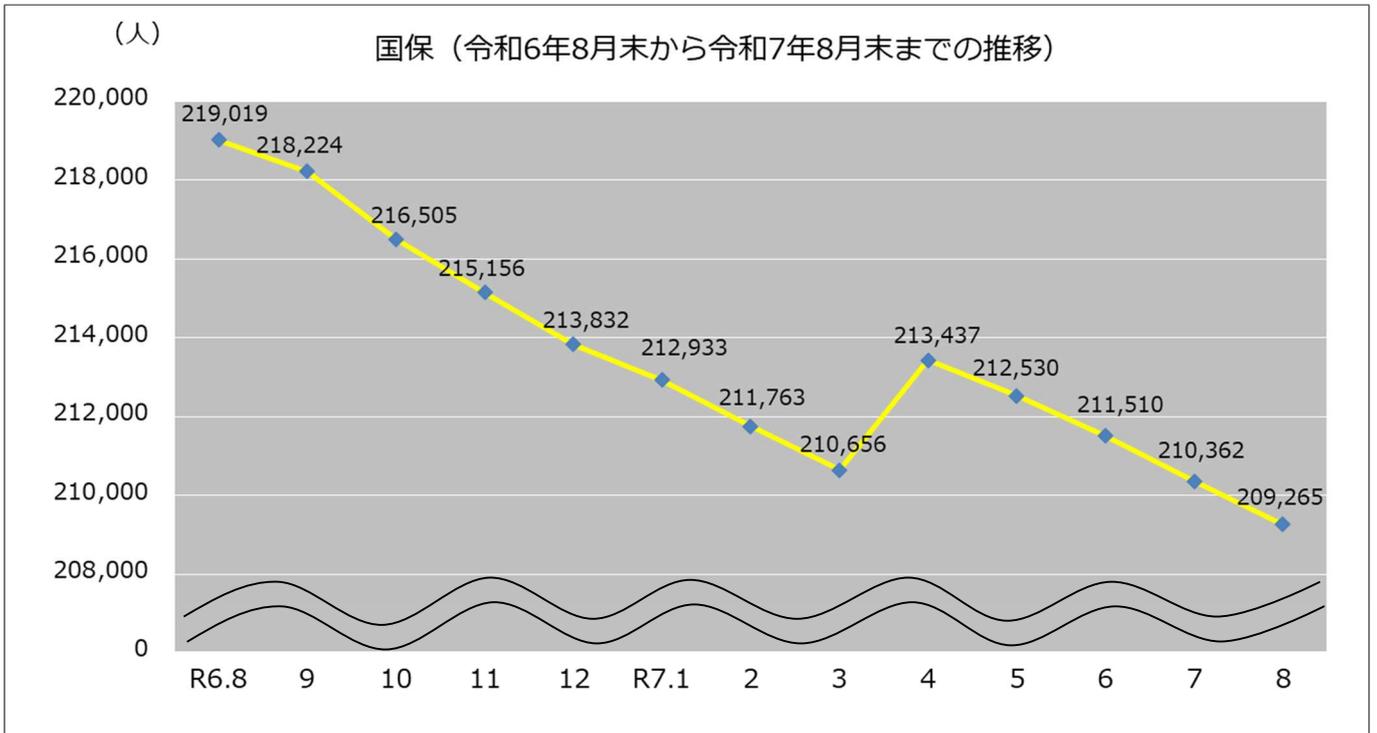
2022年12月 一般財団法人 医療経済研究・社会保険  
福祉協会

医療経済研究機構 政策推進部 国際長寿  
センター客員研究員

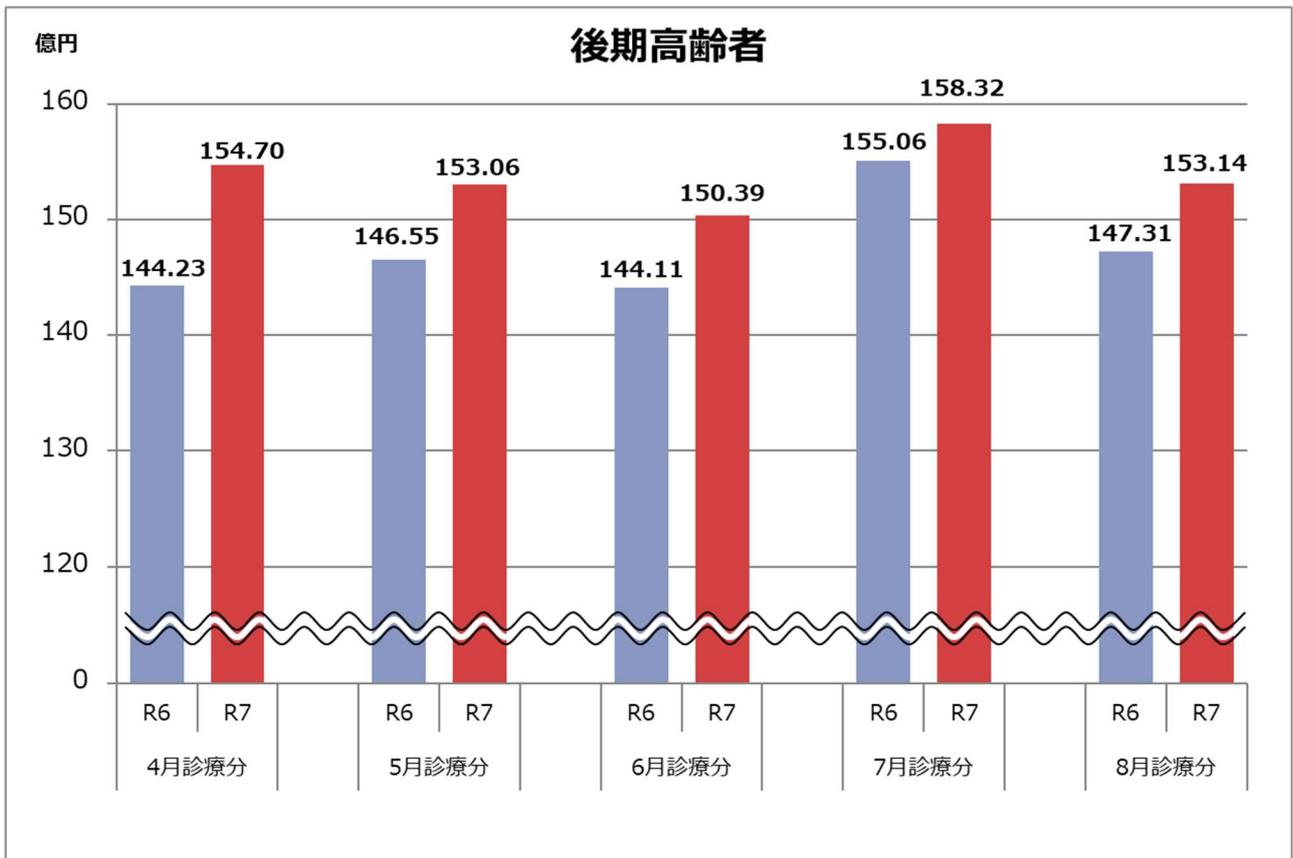
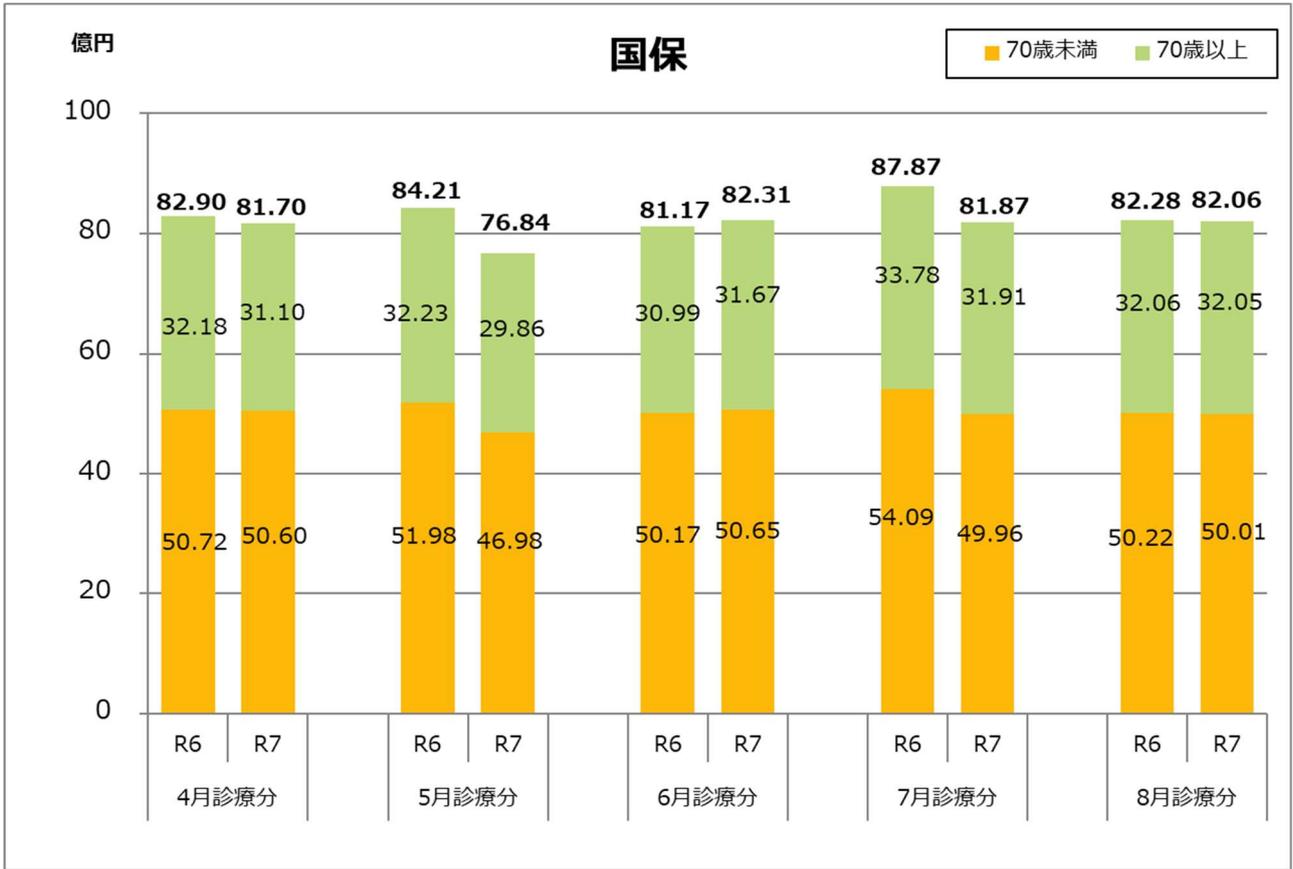
# データコーナー

## 医療費データ

### ●被保険者の推移



●月別医療費



●国保 1人当たりの医療費（令和7年3月～令和7年8月診療分）

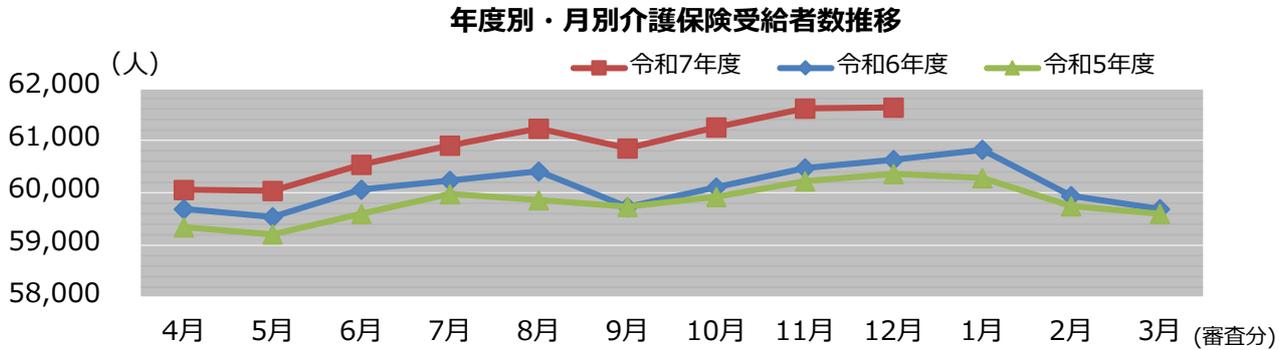
市町村	1人当たり医療費（円）				前年度比（%）
	令和6年3月～令和6年8月		令和7年3月～令和7年8月		
		順位		順位	
宮崎市	212,024	21	218,651	21	103.1
都城市	234,834	13	238,650	12	101.6
延岡市	229,472	14	233,308	15	101.7
日南市	270,031	3	281,886	4	104.4
小林市	248,057	7	254,828	8	102.7
日向市	236,868	12	251,264	9	106.1
串間市	238,436	10	261,736	6	109.8
西都市	223,426	17	221,543	19	99.2
えびの市	243,638	9	257,679	7	105.8
三股町	225,393	16	236,733	13	105.0
高原町	248,548	6	285,059	3	114.7
国富町	220,822	18	229,085	16	103.7
綾町	179,616	26	169,692	26	94.5
高鍋町	226,715	15	211,896	24	93.5
新富町	215,285	20	220,630	20	102.5
西米良村	256,167	5	367,641	1	143.5
木城町	186,796	25	217,006	22	116.2
川南町	208,523	23	223,569	18	107.2
都農町	209,494	22	195,525	25	93.3
門川町	220,672	19	234,569	14	106.3
諸塚村	309,367	1	249,493	10	80.6
椎葉村	237,734	11	216,220	23	91.0
高千穂町	261,694	4	269,788	5	103.1
日之影町	280,591	2	290,912	2	103.7
五ヶ瀬町	205,839	24	246,667	11	119.8
美郷町	246,252	8	226,427	17	91.9
県全体	226,484		233,071		102.9

お問い合わせ先 情報・介護課 情報管理係  
 TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348  
 E-mail:jyouhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報ひろば

# 介護保険だより

## ● 年度別・月別受給者推移



## 介護保険データ (令和7年4月審査分～令和7年12月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	R6.4月～R6.12月	R7.4月～R7.12月	前年同月比	R6.4月～R6.12月	R7.4月～R7.12月	前年同月比	
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮崎市	443,593	459,994	103.7	25,947,454,230	26,538,932,885	102.3	7
都城市	195,282	202,080	103.5	12,101,123,923	12,343,567,584	102.0	8
延岡市	153,312	154,883	101.0	9,666,834,879	9,710,313,556	100.4	12
日南市	63,567	64,804	101.9	4,489,725,932	4,467,088,316	99.5	17
小林市	53,503	52,714	98.5	4,074,017,071	3,978,535,725	97.7	20
日向市	46,847	47,828	102.1	3,549,708,766	3,603,109,951	101.5	10
串間市	18,956	18,996	100.2	1,491,848,394	1,467,813,821	98.4	19
西都市	33,395	34,371	102.9	2,709,318,802	2,782,783,781	102.7	6
えびの市	27,580	26,976	97.8	2,016,420,711	1,964,178,939	97.4	21
三股町	24,060	24,844	103.3	1,458,144,074	1,505,291,659	103.2	5
高原町	11,213	11,429	101.9	898,990,325	899,683,831	100.1	13
国富町	23,001	22,976	99.9	1,627,377,801	1,605,030,373	98.6	18
綾町	6,905	7,132	103.3	569,047,629	597,294,158	105.0	2
高鍋町	16,764	16,212	96.7	1,174,487,328	1,130,472,696	96.3	23
新富町	13,086	12,705	97.1	1,012,162,501	1,008,552,429	99.6	16
西米良村	950	1,187	124.9	97,207,955	115,058,786	118.4	1
木城町	6,236	6,054	97.1	473,945,658	455,117,495	96.0	25
川南町	13,410	14,006	104.4	1,090,013,679	1,090,996,188	100.1	13
都農町	10,170	9,506	93.5	800,893,473	774,114,395	96.7	22
門川町	17,248	17,476	101.3	1,011,781,376	1,047,132,922	103.5	3
諸塚村	2,074	2,135	102.9	164,092,862	156,093,261	95.1	26
椎葉村	3,093	3,071	99.3	271,098,321	273,506,681	100.9	11
高千穂町	13,417	13,814	103.0	1,059,636,853	1,096,856,011	103.5	3
日之影町	3,938	3,995	101.4	424,188,606	432,672,320	102.0	8
五ヶ瀬町	3,393	3,207	94.5	329,005,559	329,146,081	100.0	15
美郷町	7,184	7,398	103.0	639,198,678	614,228,954	96.1	24
市町村計	1,212,177	1,239,793	102.3	79,147,725,386	79,987,572,798	101.1	

\* 確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。

\* 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費および総合事業費の合計。

\* 前年度伸び率は、令和6年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 情報・介護課 介護福祉係

TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260

E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報ひろば

## 国保連行事予定（令和 8 年 2 月～令和 8 年 3 月）

### ●2月

日	曜	行事	場所等
10	火	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
13	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
19	木	国保審査委員会（～24 日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
		あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
24	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
		理事会・通常総会	オンライン会議形式

### ●3月

日	曜	行事	場所等
10	火	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
13	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
18	水	国保審査委員会（～23 日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
23	月	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
24	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

# 40歳未満事業主健診データ活用のおしらせ



40歳未満の加入者についても  
「健康診断結果の提供依頼」が可能です。\*

40歳未満の加入者について  
「健康診断結果の提供依頼」をすることの3つのメリット

メリット

1

加入者の健康課題等を把握  
することで効率的・効果的  
な保健事業が可能に。

(例：地域間や業種間、事業所間の  
データ比較、40歳未満の者の生活  
習慣病予防対策の提案 等)

メリット

2

コラボヘルス促進

(保険者と事業者等の連携による加  
入者の予防・健康づくりの推進)

メリット

3

40歳未満の加入者も、マ  
イナポータルで健診結果<sup>※</sup>  
の確認が可能に。

※ 特定健診項目のうちマイナポ  
ータルに登録された健診結果が確認で  
きます。

※ 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和3年法律第66号）により、40歳未満の加入者についても健康診断結果の提供依頼が可能となりました。



詳しくはWEB サイトへ



# イベント用機材貸出のご案内

地域の健康づくりや健康寿命延伸に関する啓発、国保の周知等を目的とした健康まつりなどのイベント活動を支援するため、保険者等のみなさまに以下の機材の貸出しを行っております。



イベントでみなさまとお会いできることをお待ちしております。

## ■ オレンジくん着ぐるみ

## ■ 体組成計

体重・体脂肪率、体の部位別の脂肪量、筋肉量などの測定を行うことができます。

## ■ もの忘れ相談プログラム

モニターに表示される簡単な質問をタッチパネルで答えていくことで、アルツハイマー型認知症の疑いをチェックできます。（※付属のプリンターも貸出ししております。）

## ■ チェッカーくん（足指力測定器）

下肢機能を把握するために足指の力を測定します。

## ■ マイクロCOモニター（呼吸ガス分析装置）

呼気中の一酸化炭素濃度を測定します。



もの忘れ相談プログラム

## ■ ライフレコーダーEX（生活習慣記録機）

日常の運動量や生活習慣を把握することができます。



チェッカーくん

## ■ 健康パネル

色々な内容の掲示用パネルがありますので、様々なテーマのイベントに対応した健康パネルをご用意することができます。

## ■ オレンジタイム DVD

## ■ のぼり

## ■ はっぴ

## ■ テーブルクロス

## ■ ロールアップバナー



のぼり（5種類）



体組成計



マイクロCOモニター

## ご案内用ウェブページURL

<https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp/insurance/lending/>

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp



使ってみよう！  
マイナ保険証

国保はみんなの健康づくりを応援します。

